

核燃・だまっちゃおられん津軽の会
次回の第17回市民講座ご案内

福島でみたトラウマ ～ 幼児期のトラウマと震災



蟻塚先生は、1985年から1997年まで藤代健生病院院長を勤められた後、2004年から沖縄の病院に勤務。2013年より、福島県相馬市のメンタルクリニックなごみ所長として活躍されています。この間、原発事故がもたらす心身症状の問題で、NHKや週刊誌など、マスコミにもたびたび登場しています。

「やはり福島県では原発事故が大きく影を落としている。抜本的対策を講じないと、福島県では今後も自殺者は増え続ける」（『女性自身』2014年5月29日号）PTSDの発症を防ぐためにも、原発被災者を早く仮設住宅から出してあげて、彼らの心の傷をふさぐことが重要で、そのためにも原発事故の収束を急がなくてはならないと、問題を訴えています。

講 師 蟻 塚 亮 二 氏
(メンタルクリニックなごみ所長・元藤代健生病院院長)
日 時 2014年11月13日(木)18:00～20:00
場 所 市民会館大会議室
参加費 無料

主 催 核燃・だまっちゃおられん津軽の会
お問い合わせ 弘前大学教育学部・大坪研究室(0172-39-3473)

*お詫びと訂正

前回の市民講座案内の一部のチラシに、「田んぼアートにも毎年1億円近い『核燃マネー』が投入」という文章がありました。『多額の『核燃マネー』が投入』と訂正させていただきます。関係者の皆様にお詫び申し上げます。